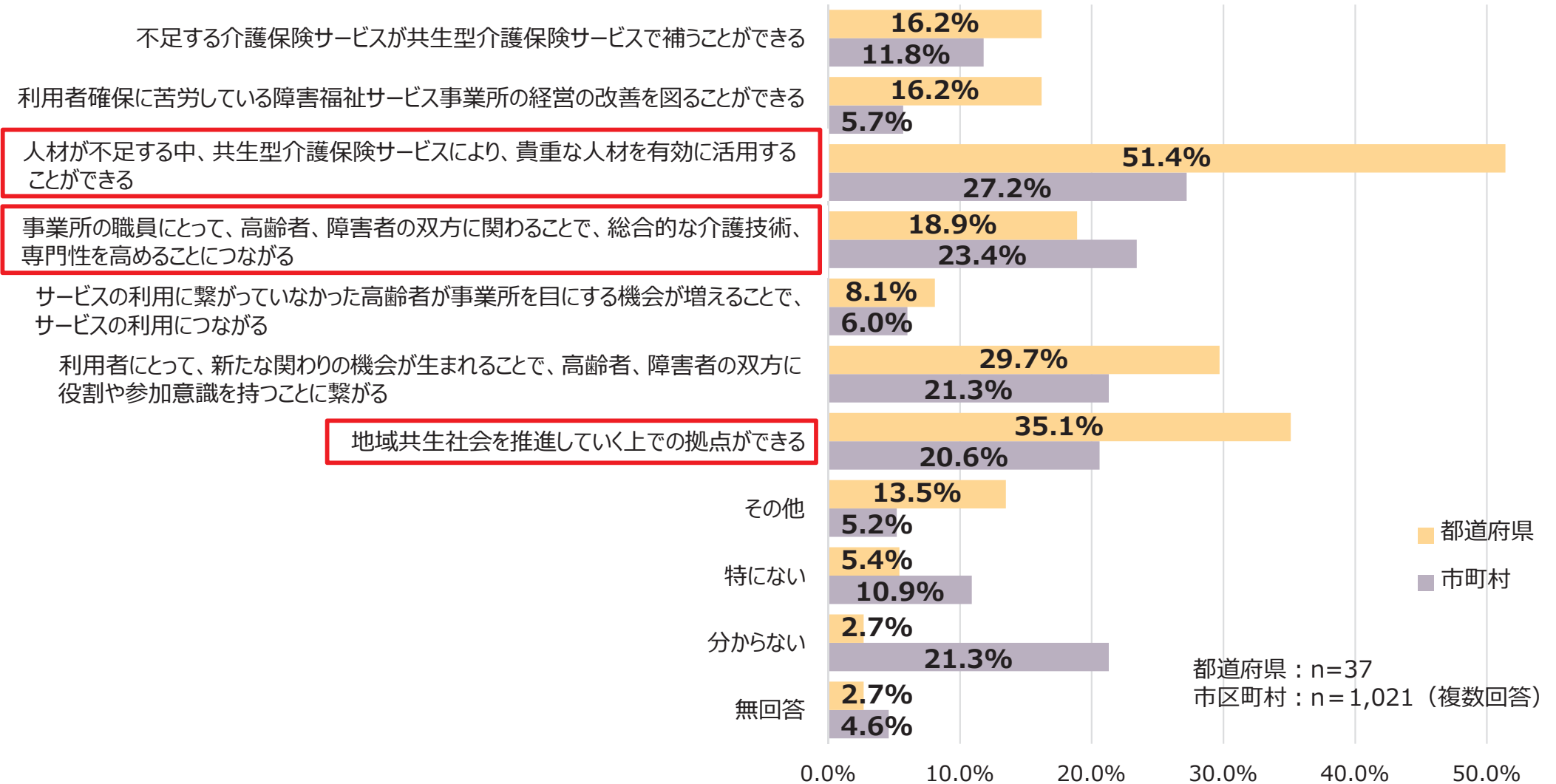


共生型サービス 共生型介護保険サービスに期待すること

○ 都道府県・市町村が共生型介護保険サービスに期待することをみると、都道府県・市町村とも「人材が不足する中、共生型介護保険サービスにより、貴重な人材を有効に活用することができる」(51.4%、27.2%)が最も多かった。次いで、都道府県では「地域共生社会を推進していく上での拠点ができる」(35.1%)、市町村では「事業所の職員にとって、高齢者、障害者の双方に関わることで、総合的な介護技術、専門性を高めることにつながる」(23.4%)が多かった。



共生型サービス 共生型障害福祉サービスに期待すること

- 都道府県・市町村が**共生型障害福祉サービス**に期待することをみると、都道府県においては「不足する障害福祉サービスが共生型障害福祉サービスで補うことができる」（48.6%）が最も多く、次いで「人材が不足する中、共生型障害福祉サービスにより、貴重な人材を有効に活用することができる」（43.2%）が多かった。また市町村においては、「人材が不足する中、共生型障害福祉サービスにより、貴重な人材を有効に活用することができる」（31.6%）が最も多く、次いで「不足する障害福祉サービスが共生型障害福祉サービスで補うことができる」（48.6%）が多かった。

不足する障害福祉サービスが共生型障害福祉サービスで補うことができる

利用者確保に苦勞している障害福祉サービス事業所の経営の改善を図ることができる

人材が不足する中、共生型障害福祉サービスにより、貴重な人材を有効に活用することができる

事業所の職員にとって、高齢者、障害者の双方に関わることで、総合的な介護技術、専門性を高めることにつながる

サービスの利用に繋がっていない障害児・者が事業所を目にする機会が増えることで、サービスの利用につながる

利用者にとって、新たな関わりの機会が生まれることで、高齢者、障害者の双方に役割や参加意識を持つことに繋がる

地域共生社会を推進していく上での拠点ができる

その他

特にない

分からない

無回答

